

2019 年全国家計構造調査

～ 総世帯の所得及び家計資産・負債に関する結果（香川県）～

<1 所得について>

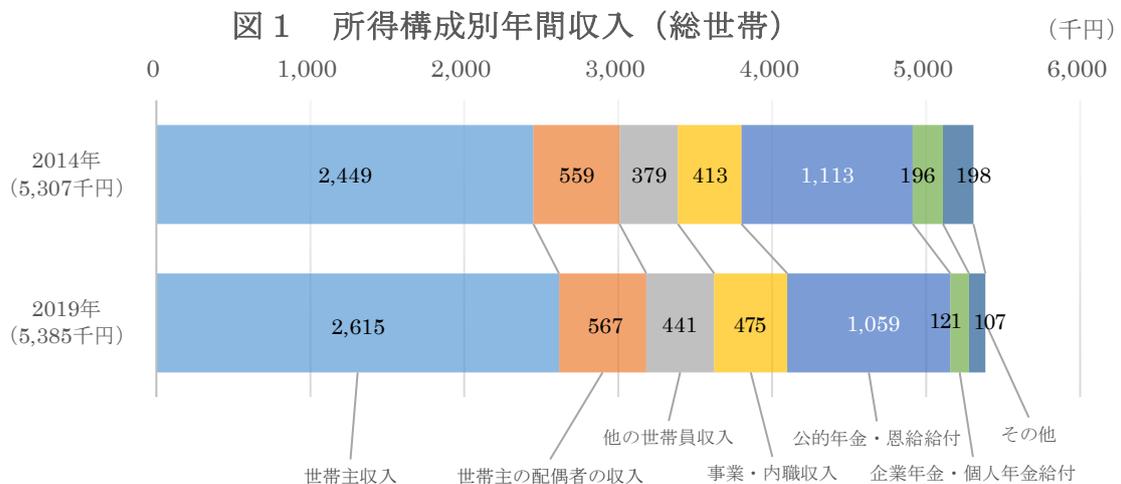
年間収入は 538.5 万円。2014 年と比較して、1.5%増加。

総世帯の 1 世帯当たり 2019 年^{※1}の年間収入は 538.5 万円であった。2014 年^{※2}と比較すると、1.5%の増加となっている。

所得構成別にみると、「勤め先収入」が 362.2 万円、「公的年金・恩給給付」が 105.9 万円、「事業・内職収入」が 47.5 万円などとなっている。（図 1、表 1）

※1 2018 年 11 月から 2019 年 10 月までの収入（税込）

※2 2013 年 12 月から 2014 年 11 月までの収入（税込）



注 図中の所得構成のうち「その他」は「年間収入」から「勤め先収入」、「事業・内職収入」、「公的年金・恩給給付」及び「企業年金・個人年金給付」を差し引いた金額

表 1 所得構成別年間収入（総世帯）

項目	2014年		2019年	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
世帯主の平均年齢（歳）	58.2	-	58.9	-
平均世帯人員（人）	2.53	-	2.34	-
年間収入（千円）	5,307	100.0	5,385	100.0
勤め先収入	3,387	63.8	3,622	67.3
世帯主収入	2,449	46.1	2,615	48.6
世帯主の配偶者の収入	559	10.5	567	10.5
他の世帯員収入	379	7.1	441	8.2
事業・内職収入	413	7.8	475	8.8
利子・配当金	74	1.4	20	0.4
公的年金・恩給給付	1,113	21.0	1,059	19.7
社会保障給付金（公的年金・恩給以外）	-	-	37	0.7
企業年金・個人年金給付	196	3.7	121	2.2
仕送り金	38	0.7	31	0.6
その他の収入	65	1.2	10	0.2
現物収入	22	0.4	10	0.2

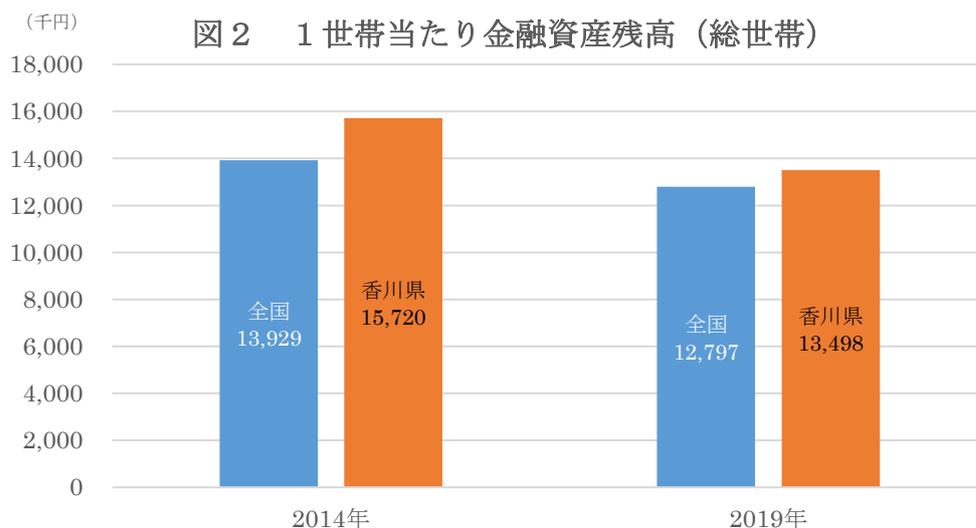
<2 金融資産残高について>

金融資産残高は、1349.8万円。2014年と比較して、14.1%の減少。

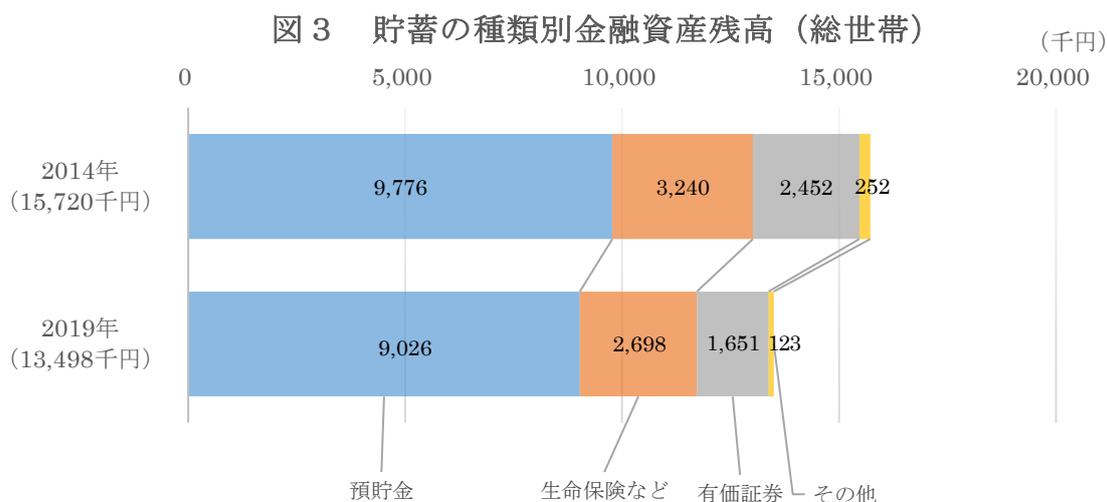
総世帯の1世帯当たり2019年10月末日現在の金融資産残高^{※1}（貯蓄現在高）は、1349.8万円であった。2014年^{※2}と比較すると14.1%の減少となっている。また、全国平均は1279.7万円で、8.1%の減少となっている。（図2）

※1 「金融資産を保有していない世帯」を含む平均

※2 2014年11月末日現在



総世帯の1世帯当たり2019年10月末日現在の金融資産残高（貯蓄現在高）を貯蓄の種類別にみると、「預貯金」は902.6万円、「生命保険など」は269.8万円、「有価証券」は165.1万円、「その他」は12.3万円となっている。（図3）



<3 金融負債残高について>

金融負債残高は、301.5万円。2014年と比較して、30.7%の増加。

総世帯の1世帯当たり2019年10月末日現在の金融負債残高^{※1}は、301.5万円であった。2014年^{※2}と比較すると30.7%の増加となっている。また、全国平均は455.9万円で、14.0%の増加となっている。(図4)

※1 「金融負債を保有していない世帯」を含む平均

※2 2014年11月末日現在



総世帯の1世帯当たり2019年10月末日現在の金融負債残高のうち「住宅・土地のための負債」は263.2万円となっており、金融負債残高の87.3%を占めている。

負債保有率(負債を保有している世帯の割合)は31.0%で、2014年^{※1}と比較すると、3.6ポイントの増加となっている。(表2)

※1 2014年11月末日現在

表2 金融負債残高及び負債保有率(総世帯)

	金融負債残高		うち住宅・土地のための負債		金融負債残高に占める住宅・土地のための負債割合(%)	負債保有率(%)	うち住宅・土地のための負債保有率(%)
	(千円)	増減率(%)	(千円)	増減率(%)			
2014年	2,306	-	2,049	-	88.9	27.4	16.6
2019年	3,015	30.7	2,632	28.5	87.3	31.0	17.5

<4 家計資産について>

家計資産総額は2344.9万円。2014年と比較して15.8%減少。

総世帯の1世帯当たり2019年10月末日現在の家計資産総額^{※1}は、1世帯当たり2344.9万円であった。2014年^{※2}と比較すると、15.8%の減少となっている。(表3)

家計資産の種類別にみると、「純金融資産(貯蓄-負債)」が1048.3万円(家計資産総額に占める割合44.7%)で最も多く、次いで「宅地資産」が911.2万円(同38.9%)、「住宅資産」が385.3万円(同16.4%)となっている。(図5)

※1 「家計資産総額」(純資産総額)は、「純金融資産(貯蓄-負債)」と「住宅・宅地資産」の合計である。

※2 2014年11月末日現在

表3 家計資産の内訳(総世帯)

項目	2014年		2019年		増減率(%)	構成比 上昇・低下幅 (%)
	実数(千円)	構成比(%)	実数(千円)	構成比(%)		
家計資産総額	27,834	100.0	23,449	100.0	-15.8	-
純金融資産(貯蓄-負債)	13,415	48.2	10,483	44.7	-21.9	-3.5
金融資産残高(貯蓄現在高)	15,720	-	13,498	-	-14.1	-
金融負債残高	2,306	-	3,015	-	30.7	-
住宅・宅地資産	14,420	51.8	12,966	55.3	-10.1	3.5
宅地資産	10,901	39.2	9,112	38.9	-16.4	-0.3
住宅資産	3,518	12.6	3,853	16.4	9.5	3.8
(再掲)現住居・居住地	11,720	42.1	10,603	45.2	-9.5	3.1
宅地資産	8,635	31.0	7,292	31.1	-15.6	0.1
住宅資産	3,085	11.1	3,311	14.1	7.3	3.0
(再掲)現住居・居住地以外	2,699	9.7	2,362	10.1	-12.5	0.4
宅地資産	2,266	8.1	1,820	7.8	-19.7	-0.4
住宅資産	433	1.6	542	2.3	25.2	0.8

図5 家計資産の種類別家計資産総額(総世帯)

